

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月14日
【四半期会計期間】	第68期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	株式会社 タカチホ
【英訳名】	Takachiho Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 久保田 知幸
【本店の所在の場所】	長野県長野市大豆島5888番地
【電話番号】	026(221)6677(代表)
【事務連絡者氏名】	経営企画部長 渡辺 三千也
【最寄りの連絡場所】	長野県長野市大豆島5888番地
【電話番号】	026(221)6677(代表)
【事務連絡者氏名】	経営企画部長 渡辺 三千也
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第67期 第2四半期 連結累計期間	第68期 第2四半期 連結累計期間	第67期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(千円)	6,736,281	6,727,085	12,213,433
経常利益(千円)	170,927	189,163	75,327
四半期(当期)純利益(千円)	98,332	109,793	31,748
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	97,242	111,747	39,128
純資産額(千円)	1,682,437	1,723,497	1,624,266
総資産額(千円)	7,595,669	7,471,267	7,223,154
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	15.71	17.54	5.07
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)			
自己資本比率(%)	22.15	23.10	22.50
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	142,899	80,799	352,387
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	126,773	55,444	290,912
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	80,664	74,465	122,338
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	549,503	777,468	677,648

回次	第67期 第2四半期 連結会計期間	第68期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	21.94	22.80

(注) 1. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動は、ありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融・経済政策等を背景に円高・株安は解消され、企業業績は改善されました。その一方で、個人消費の上昇に対する期待感はあるものの、雇用・所得環境が十分な改善に至っていないこともあり、先行き不透明なまま推移いたしました。

レジャー業界におきましては、円安の影響を受けて一部の観光地で外国人観光客の増加もみられましたが、夏季観光シーズンの記録的な猛暑やゲリラ豪雨・長雨、大型台風の影響により依然として厳しい市場環境が続きました。

このような状況のなか、当社グループは、「改革へのチャレンジ」の年度スローガンに基づき、みやげ事業を中心に販路拡大策の実施や社内業務の改善に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,727百万円（前年同四半期比0.1%減）、営業利益は213百万円（前年同四半期比10.8%増）、経常利益は189百万円（前年同四半期比10.7%増）、四半期純利益は109百万円（前年同四半期比11.7%増）となりました。

セグメント別業績は次のとおりであります。

#### みやげ卸売事業

みやげ卸売事業は、当社及び当社子会社において地域の特色を生かした商品開発並びに当社開発のオリジナル商品群の提案による販路拡大を進めてまいりました。その結果、売上高は3,999百万円（前年同四半期比4.6%増）となり、営業利益は240百万円（前年同四半期比25.7%増）となりました。

#### みやげ小売事業

みやげ小売事業は、当社みやげ小売ブランド店として長野県小布施町に「きなり旬粋店」を平成25年4月にオープンし、みやげ小売の業容拡大を図ってまいりました。一方、昨年4月に新東名高速道路清水PA内にオープンしました「富士旬粋店」の売上が前年度の反動により減少し、その結果、売上高は1,106百万円（前年同四半期比2.5%減）となり、営業利益は20百万円（前年同四半期比63.0%減）となりました。

#### みやげ製造事業

みやげ製造事業は、当社や各地の当社子会社及び各観光地の取引先の地域性を生かしたオリジナル商品の開発と提案による積極的な生産活動に努めるとともに、従来有していた販売機能をみやげ卸部門に移管することにより効率的な生産活動に努めてまいりましたが、受注が振るわず営業利益は8百万円（前年同四半期比71.6%減）となりました。

#### 温浴施設事業

温浴施設事業は、一部施設のリニューアル投資を行うとともに経費削減を図りながら、各種イベントの企画・実施等や接客・サービスのレベルアップに努め、各施設のリピーター客の増加に努めました。その結果、売上高は846百万円（前年同四半期比3.0%の増）となり、営業利益は4百万円（前年同四半期は48百万円の営業損失）となりました。

#### 不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、長野市内の「ショッピングタウンあおぞら」のテナント管理を中心に営んでおります。これらの賃料収入は55百万円（前年同四半期比4.2%増）となり、営業利益は19百万円（前年同四半期比21.4%増）となりました。

#### アウトドア用品事業

アウトドア用品事業は、シーズンに合わせたユーザー参加型のイベントの企画・開催によりお客様ニーズの発掘と購買意欲を喚起してまいりましたが、天候不順により需要の減少となりました。その結果、売上高は408百万円（前年同四半期比7.8%減）となり、営業利益は19百万円（前年同四半期比54.7%減）となりました。

#### その他

その他は、長野市内においてギフト店等の運営が含まれ、催事・イベント等販売活動を積極的に推進してまいりました。その結果、売上高は311百万円（前年同四半期比1.6%増）となり、営業利益は29百万円（前年同四半期比26.0%増）となりました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動によりキャッシュ・フローが80百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが55百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが74百万円の収入となり、この結果当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は、777百万円となりました。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は80百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益188百万円、減価償却費141百万円及び仕入債務の増加49百万円による収入があったものの、売上債権の増加253百万円等の支出によるものであります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は55百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は74百万円となりました。これは主に社債の発行による収入によるものであります。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

#### (4) 研究開発活動

特記すべき事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	16,000,000
計	16,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	7,275,000	7,275,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	7,275,000	7,275,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年7月1日 ~ 平成25年9月30日	-	7,275,000	-	1,000,000	-	1,251

(6)【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
久保田 知幸	長野県長野市	454	6.24
久保田 恵一	長野県長野市	417	5.73
株式会社八十二銀行	長野県長野市中御所岡田178 - 8	311	4.27
宮尾 勝	長野県長野市	292	4.02
長野信用金庫	長野県長野市居町133 - 1	240	3.29
湯本 良知	長野県中野市	183	2.51
タカチホ従業員持株会	長野県長野市大豆島5888番地	143	1.96
所 正純	長野県長野市	128	1.75
二本松 雅子	長野県長野市	113	1.55
榎本 里司	愛知県東海市	110	1.51
計	-	2,391	32.88

(注) 1. 所有株式数の千株未満は切り捨てております。

2. 「発行済株式総数に対する所有株式数の割合」は単元未満株式数を含めた割合であります。

3. 当社は自己株式1,016,811株を保有しており、上記大株主から除外しております。

(7)【議決権の状況】  
【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,016,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,234,000	6,234	-
単元未満株式	普通株式 25,000	-	-
発行済株式総数	7,275,000	-	-
総株主の議決権	-	6,234	-

(注) 1.上記「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式5千株(議決権の数5個)が含まれております。

2.「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式811株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社タカチホ	長野県長野市大豆島 5888番地	1,016,000	-	1,016,000	13.97
計	-	1,016,000	-	1,016,000	13.97

2【役員の状況】

当該事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、清陽監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	917,465	1,011,285
受取手形及び売掛金	<sup>2</sup> 911,931	<sup>2</sup> 1,165,245
商品及び製品	577,882	577,125
原材料及び貯蔵品	76,312	78,952
その他	101,807	92,162
貸倒引当金	4,379	7,883
流動資産合計	2,581,019	2,916,887
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,397,432	1,370,594
土地	1,006,575	1,006,575
その他(純額)	392,120	357,461
有形固定資産合計	2,796,128	2,734,630
無形固定資産		
無形固定資産合計	149,515	135,712
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,037,609	1,039,215
その他	677,559	660,223
貸倒引当金	18,677	15,401
投資その他の資産合計	1,696,491	1,684,037
固定資産合計	4,642,135	4,554,380
資産合計	7,223,154	7,471,267
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	470,174	519,514
短期借入金	2,627,120	2,533,011
未払法人税等	33,534	71,201
賞与引当金	54,771	64,056
返品調整引当金	4,954	5,014
ポイント引当金	12,681	13,446
その他	565,411	522,626
流動負債合計	3,768,647	3,728,871
固定負債		
社債	100,000	200,000
長期借入金	1,249,336	1,334,064
役員退職慰労引当金	57,004	59,354
資産除去債務	321,430	327,175
その他	102,470	98,304

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
固定負債合計	1,830,241	2,018,898
負債合計	5,598,888	5,747,770
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	720,835	708,318
利益剰余金	101,361	211,154
自己株式	199,825	199,825
株主資本合計	1,622,370	1,719,647
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,895	3,849
その他の包括利益累計額合計	1,895	3,849
純資産合計	1,624,266	1,723,497
負債純資産合計	7,223,154	7,471,267

( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	6,736,281	6,727,085
売上原価	5,023,018	4,982,645
売上総利益	1,713,263	1,744,439
販売費及び一般管理費	1,520,414	1,530,789
営業利益	192,848	213,650
営業外収益		
受取利息	4,108	4,106
受取配当金	310	405
仕入割引	1,705	1,767
受取事務手数料	4,786	4,792
その他	7,578	5,400
営業外収益合計	18,489	16,473
営業外費用		
支払利息	39,238	36,917
その他	1,171	4,042
営業外費用合計	40,410	40,960
経常利益	170,927	189,163
特別利益		
固定資産売却益	-	500
受取補償金	12,440	-
特別利益合計	12,440	500
特別損失		
固定資産除却損	-	1,231
特別損失合計	-	1,231
税金等調整前四半期純利益	183,368	188,431
法人税、住民税及び事業税	84,889	68,458
法人税等調整額	146	10,179
法人税等合計	85,036	78,638
少数株主損益調整前四半期純利益	98,332	109,793
四半期純利益	98,332	109,793

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	98,332	109,793
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,089	1,954
その他の包括利益合計	1,089	1,954
四半期包括利益	97,242	111,747
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	97,242	111,747
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	183,368	188,431
減価償却費	134,478	141,240
固定資産売却損益(は益)	-	500
受取補償金	12,440	-
固定資産除却損	-	1,231
貸倒引当金の増減額(は減少)	3,401	229
賞与引当金の増減額(は減少)	3,302	9,285
返品調整引当金の増減額(は減少)	1,040	60
ポイント引当金の増減額(は減少)	1,875	764
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	1,600	2,350
受取利息及び受取配当金	4,419	4,512
仕入割引	1,705	1,767
支払利息	39,238	36,917
社債発行費	-	2,969
売上債権の増減額(は増加)	408,214	253,313
たな卸資産の増減額(は増加)	118,649	1,883
営業保証金の減少額(増加額)	80	3,065
仕入債務の増減額(は減少)	107,868	49,339
未払消費税等の増減額(は減少)	240	15,906
前受金の増減額(は減少)	5,548	786
その他の資産の増減額(は増加)	17,084	11,603
その他の負債の増減額(は減少)	19,345	66,987
小計	78,824	133,645
利息及び配当金の受取額	2,218	3,649
利息の支払額	39,330	36,897
補償金の受取額	12,440	-
法人税等の支払額	39,404	30,441
法人税等の還付額	-	10,844
営業活動によるキャッシュ・フロー	142,899	80,799
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	172,000	172,000
定期預金の払戻による収入	178,000	178,000
有形固定資産の取得による支出	122,111	54,409
無形固定資産の取得による支出	10,925	1,832
敷金及び保証金の差入による支出	23,298	24,047
敷金及び保証金の回収による収入	23,662	21,345
投資有価証券の取得による支出	-	3,000
その他	100	500
投資活動によるキャッシュ・フロー	126,773	55,444

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	400,000	400,000
短期借入金の返済による支出	400,000	500,000
固定資産に係る割賦債務等の返済による支出	18,937	763
長期借入れによる収入	600,708	603,445
長期借入金の返済による支出	500,912	512,825
社債の発行による収入	-	97,030
配当金の支払額	194	12,420
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>80,664</b>	<b>74,465</b>
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	189,008	99,820
現金及び現金同等物の期首残高	736,464	677,648
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(は減少)	2,047	-
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>549,503</b>	<b>777,468</b>

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 偶発債務

三菱UFJリース株式会社を被保証者として、平成33年12月末までの事業用土地の賃借人としての賃料(現行月額1,942千円)の支払等一切の債務について、当該土地の賃貸人に対して連帯保証を行っております。

2 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形が前連結会計年度末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形	4,321千円	- 千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
貸倒引当金繰入額	3,411千円	3,061千円
ポイント引当金繰入額	2,870	1,402
給与賞与	571,387	575,300
賞与引当金繰入額	53,693	59,117
役員退職慰労引当金繰入額	2,350	2,350

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	783,308千円	1,011,285千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	233,804	233,816
現金及び現金同等物	549,503	777,468

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	12,516	2.00	平成25年3月31日	平成25年6月28日	資本剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	みやげ 卸売事業	みやげ 小売事業	みやげ 製造事 業	温浴施 設 事業	不動 産 賃貸事 業	アウトド ア 用品事 業	計				
売上高	3,821,789										
外部顧客への売上高		1,135,092	154,276	822,361	53,402	442,843	6,429,765	306,515	6,736,281	-	6,736,281
セグメント間の内部売上高又は振替高	133,048	-	199,840	-	12,000	-	344,889	221,842	566,731	566,731	-
計	3,954,838	1,135,092	354,117	822,361	65,402	442,843	6,774,655	528,357	7,303,013	566,731	6,736,281
セグメント利益又は損失( )	191,608	54,694	31,337	48,260	15,911	43,895	289,187	23,553	312,741	119,893	192,848

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失( )の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	みやげ 卸売事業	みやげ 小売事業	みやげ 製造事 業	温浴施 設 事業	不動 産 賃貸事 業	アウトド ア 用品事 業	計				
売上高	3,999,018										
外部顧客へ の売上高		1,106,195	-	846,798	55,641	408,131	6,415,785	311,300	6,727,085	-	6,727,085
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	138,361	-	279,920	-	12,000	-	430,282	220,363	650,645	650,645	-
計	4,137,380	1,106,195	279,920	846,798	67,641	408,131	6,846,067	531,663	7,377,730	650,645	6,727,085
セグメン ト 利益	240,820	20,213	8,893	4,754	19,320	19,898	313,901	29,672	343,573	129,923	213,650

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	15円71銭	17円54銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	98,332	109,793
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	98,332	109,793
普通株式の期中平均株式数(千株)	6,258	6,258

(注) 潜在株式調整後1株当たりの四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月13日

株式会社タカチホ

取締役会 御中

清陽監査法人

指定社員  
業務執行社員  
公認会計士 大河原恵史 印

指定社員  
業務執行社員  
公認会計士 鈴木智喜 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社タカチホの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社タカチホ及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。